

令和5年度 第1回島田市文化芸術推進協議会 議事概要

1 日時 令和5年10月8日(日) 午後1時30分～午後3時30分

2 場所 プラザおおるり視聴覚室

3 出席者

(1) 委員 松本委員、森澤委員、榛葉委員、
高橋委員、小栗委員、片川委員

(2) 事務局 文化振興課 佐藤課長、杉山係長、栗田主事、三宅主事

(3) 傍聴者 0名

4 概要

(1) 開会

(2) 議事

○協議事項

- (1) 市民文化祭の開催について
- (2) 市民文化祭視察
- (3) 今年度の文化芸術推進協議会の予定

「○」委員からの質問・意見等 「→」事務局の回答等

最初に事務局から資料1により市民文化祭の概要について説明した。

- ：どこの自治体も文化祭は課題となっている。
- ：ステージ文門はヒップホップ系だと出演者が若く、観覧に親や祖父母が来るので年齢層は広いが、ほかの部門は高齢化している。
- ：写真部門に関しては、前年度の市長賞受賞者に実行委員になってもらうように決めている。励みになり前向きになってくれるので、ほかの部門も取り入れてもらいたい。
- ：以前、高齢者と若者をつなげるようにするにはどうすれば良いか話したことがある。例えばフィルムカメラを若者は知らないので、興味を持つ人が出るのではないか。
- ：島田市内でフィルム現像しているところはない。デジタルの時代なので、むしろ若い世代に高齢者が教わることが多い。

- ：現像しているところが少ない分、若者の興味関心を引き付けることができる。
- ：学校のクラブ活動に高齢者世代を取り込めることが出来れば、若い世代とのつながりを作ることができる。
- ：教員の労働状況は厳しく、部活動を地域に移行していく方向で調整できれば先行的な事例になる。

～文化祭の視察～

- ：市民文化祭の感想を全員の委員から伺いたい。
- ：土日勤務の関係で、初めて市民文化祭を見た。話を聞くと違う見方ができて面白い。中学生には難しいかもしれないが、自分と同じ年代がそれ以上の年代は面白く感じると思う。
- ：一人ひとり作品への思いがあり若者にとっても魅力的だと思う。
- ：1週間くらい展示実施しても面白いと思う。
- ：ほかの県で文化活動をしている団体に補助金を出していたが、趣味のサークルではないかという議論があり、補助金を廃止した経緯がある。入口の受付に高齢の方が数人いたが、入りにくいし、内々のサークル活動ではないかと受け取られる。もう少し運営で工夫すれば可能性がある。
- ：説明してくれる人がいたことで楽しめた。今はパソコンでどんなものでも作れるが、制作過程の話は聞くと面白い。作品を見ただけでわからないことをワークショップとかで説明してくれたらありがたい。
- ：文化協会の延長線上にある文化祭と受け取られている。以前、文化協会に入会していないと出品できないと思われたことがあり、残念に思う。ステージ発表はおおるりホールがいいが、展示部門は夢づくり会館やチャリム 21 のホールがフラットになるので、1か月くらい一度に全部門を展示したい。人を集めることについては、スタンプラリーで景品をあげる等で工夫しながらできる。
- ：新しい実行委員が加われば解決できそうだが、実行委員はどのように募ればよいか。
- ：広報しまだなどで公募することで市民にPRすることができる。
- ：市で実施している唯一のイベントなら頑張らないといけない。県単位の場合は難しいが、市単位の場合はいろんな運営方法を模索することができる。
- ：事務局は他市の実施状況を把握しているか。
- ：近隣自治体は同じような実施方法になっている。もっと広範囲にいろんな自治体を見るべきだと思っている。

○：様々な意見が出されたので、次の議事に移りましょう。

事務局から資料2により今年度の協議会スケジュールを説明した。

○：視察先について意見があれば述べていただきたい。

○：施設を視察するだけか、同時に実施しているイベントも視察するののか。

○：市の文化施設は全部見ている。

○：施設より文化芸術推進計画に沿ったものを視察したほうが良い。施設は大規模な改修を実施した等ないので、委員が関わっている神社や醸造企業、民宿など見に行ったほうが良い。

○：2月9日～12日は夢づくり会館で夢づくり展を実施している。多くの世代が参加しているので是非視察してほしい。

○：計画の見直しのための視察なら、計画に載っているところを視察したほうが良い。

→：夢づくり展はぜひ見ていただきたいので、第3回協議会を2月に実施し、第2回は数か所視察に行っていたいただきたい。

○：川越街道の和菓子バルも視察の候補に加えたい。

→：和菓子バルは11月だが、川越街道レンタル着物屋は普段も営業している。

○：市の施設やイベントを見るより、外の文化振興を実施している側を見ることで新たな視点が生まれる。

○：川越街道のレンタル着物、日本酒製造、神社なら12月でも実施できるので3か所を視察する。

(3) その他

→：中間見直しについては、計画の資料編の資料1ページ～34ページに掲載されている市の事業の内容に変更が生じているものがあるので、更新することを見直しとする。その他、見直しすべき箇所があるなら次回意見を述べていただきたい。

○：何か変更されているかわからないので、事務局で資料を作ってくれることで良いか。

→：こちらで作成する。また、次回の日程については、視察先と調整のうえ決定する。

○：承知した。

(4) 閉会